

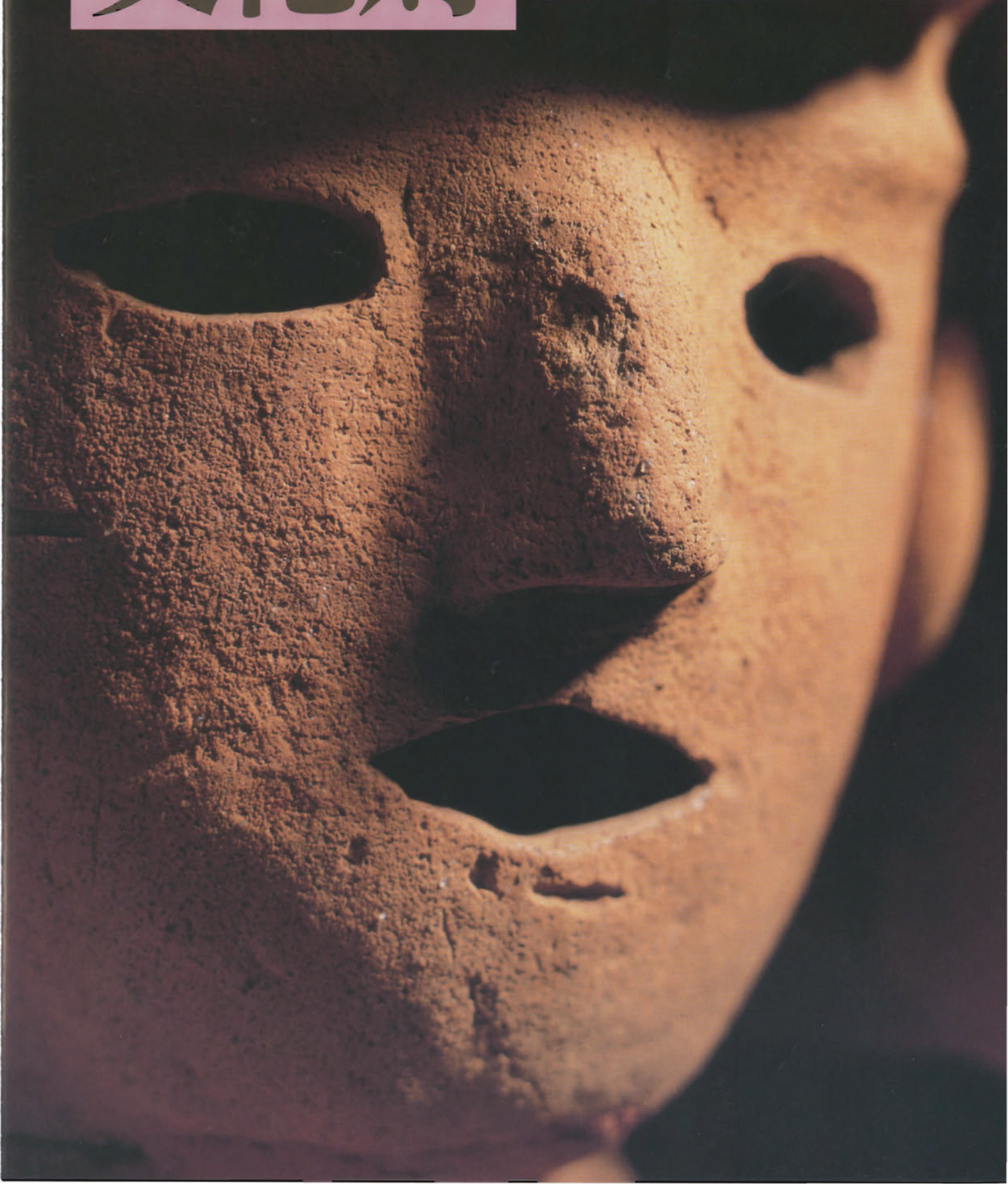
# 房総の 文化財

VOL.13

平成9年7月31日

財団法人 千葉県文化財センター  
〒284 千葉県四街道市鹿渡809-2  
TEL043-422-8811(代)  
FAX043-422-8850

ISSN 0919-0848  
Bōsō no bunkazai





新しい道と古い道—八千代市道地遺跡—

千葉県内では新しい道路が各地で建設されています。千葉ニュータウンと湾岸地域を結ぶ幹線になる県道船橋印西線もその一つです。道地遺跡はこの予定地になっている八千代市の北部にあります。付近には、弥生時代中期<sup>ほり</sup>の塚をめぐらしたムラである田原窪遺跡、古墳時代前期（3世紀後半～4世紀）の大きなムラである佐山台遺跡<sup>さやまだい</sup>や古墳時代後期（6世紀～7世紀初）の平戸台古墳群<sup>ひらどだい</sup>があります。

道地遺跡では、先に行われた八千代市の調査によって弥生時代から古墳時代のムラが発見されていましたが、今回の調査で弥生時代の道の跡



查でも予想されたとおり、弥生時代後期（2世紀～3世紀）から古墳時代前期の竪穴住居跡が80軒近くも見つかりました。この時期の竪穴住居跡は掘り込みが浅いのですが、普通の倍の70cmも掘り下げてある住居跡が見つかりました。

弥生時代後期の土坑墓も見つかりました。遺構の南側に大形の土器が置かれていたため、墓ではないかと思い慎重に掘ってみたところ、副葬品ふくそうひんと思われる青いガラス小玉いしがひが出てきました。遺骸は腐食して残っていませんでした。同じような青いガラス小玉は、後期の古墳の埋葬施設ばうしせつの残骸の中からも発見されました。棺の石材はすでに抜き取られていましたが、念のため残った土をふるいにかけてみたところ30点以上の小玉が出てきました。

珍しい遺構として、弥生時代後期の道の跡が見つかりました。昔も今と同じように、生活のためには道が必要で何本も造られたはずですが、古墳時代以前の道



掘り込みの深い住居跡

弥生時代後期の土坑墓

の跡は発掘調査ではあまり見つかっていません。道地遺跡の道の跡は、遺跡の北のはずれにありました。この道はムラから下の神崎川かみざきがわの方へと続いているようです。道を埋めた土の中から弥生時代後期の土器が完全な形のままゴロリと出てきて驚かされました。

このように発掘調査では、予想しなかった思いがけないものが出てくる場合が少なくありません。

(部 淳一)

## 收藏遺物二一十一

近世の“やきもの”とくらし みんぞのいだい—佐倉市弥勒東台遺跡—

弥勒東台遺跡は、国立歴史民俗博物館の東方約1.5kmの台地上にあります。今回の調査で、多量の陶磁器、土器、瓦などが出土し、17世紀前半に佐倉藩主土井利勝によって創建された松林寺しょうりんじの堀の跡であることがわかりました。遺物のほとんどは、18世紀から幕末にかけてのものです。

陶磁器・土器などの“やきもの”は、生活雑器が中心で、  
碗・皿・徳利をはじめとして、甕・灯火具（油を燃やして  
明かりを取る道具）・神仏具・焙烙（豆やゴマなどを炒る土  
鍋）などが出土しました。

中でも、写真の花器<sup>かき</sup>は、完形に近く、形といい、染付け<sup>そめつ</sup>のデザインといいみごとなものです。生産地<sup>ひぜん</sup>は肥前（今の佐賀県と長崎県の一部）で、17世紀末から18世紀初頭の磁器です。高さは約26cmです。当時、松林寺の床の間に飾ってあったとしたら、さぞかし趣<sup>おもむき</sup>があったことでしょう。



様々な近世の“やきもの”



花器

それにしても、どうして松林寺の堀跡から、写真で紹介したような多種多様の“やきもの”が出土したのでしょうか。中には、今でもそのまま使えそうな完形品も数多くありました。記録によると、明治17年(1884)に寺の一部を解体したとあるので、その時、庫裏(寺の倉庫)に保管してあったものを、堀に投げ捨てたのかもしれませんが。

江戸時代、佐倉の町に入ってきたこれらの“やきもの”を見ると、当時の生活ぶりが今に伝わってきます。(白鳥 章)

◎遺跡今昔物語◎

もう一つのニュータウン～千葉ニュータウン物語

今、千葉県の北西部に新しい町づくりが行われています。この計画は、船橋市、印西市、印旛郡白井町、本埜村及び印旛村の2市1町2村にまたがる広さ約1,933ha、計画人口約19万4千人の規模をもつ千葉ニュータウンです。昭和44年から事業が進められていますが、ニュータウンの中心として整備されているのが、住宅・都市整備公団鉄道の千葉ニュータウン中央駅周辺です。住宅街はもちろんのこと、企業の事務センター、印西市の公共施設、スーパーマーケットや大学などが集まり、文字どおり印西市の新しい中心となる町造りが進められています。

ニュータウンを建設する前に遺跡の発掘調査が昭和45年度から開始されました。ニュータウン中央駅付近だけでも、図のように8か所の遺跡が調査されました。旧石器時代から縄文時代、そして、平安時代ころに人が生活した跡や、江戸時代の塚などが<sup>まかのぼ</sup>見つかっています。ニュータウンの始まりははるか昔に遡ることになります。それでは、調査された遺跡を下の図で紹介します。

(花島 理典)



発掘調査中の千葉ニュータウン予定地  
(榎峠遺跡付近、千葉県立房総風土記の丘提供)



現在の千葉ニュータウン中央駅付近

きかりとうげ  
木苅峠遺跡

旧石器時代の人が25  
か所で石器を造る。  
平安時代の人が家を  
一軒造る。

いっぽんぞくら  
一本桜遺跡

縄文時代早期の人が狩をする。  
縄文時代前期の人が小さなムラを造る。

猿塚遺跡

縄文時代中期の人が狩をする。  
江戸時代に付近の人が塚を造る。

えのきとうげ  
榎峠遺跡

縄文時代早期の人が生活する。

あおつか  
大塚塚群

江戸時代に、付近の人が塚を造る。

おおつかまえ  
大塚前遺跡

奈良・平安時代の人が寺を造る。「埴」とへう書きした瓦を使用する。

おれ の こう しん つか  
大野庚申塚

● 大野庚申塚 江戸時代に付近の人が庚申塚を造る。

高根北遺跡

旧石器時代の人が生活する。  
縄文時代早期の人が生活する。  
平安時代の人が家を一軒造る。

|                 |                 |      |      |            |      |      |       |      |              |      |      |
|-----------------|-----------------|------|------|------------|------|------|-------|------|--------------|------|------|
| 旧石器時代           | 縄文時代            | 弥生時代 | 古墳時代 | 奈良時代       | 平安時代 | 鎌倉時代 | 南北朝時代 | 室町時代 | 安土桃山時代       | 江戸時代 | 明治時代 |
| 三万年前<br>一万三〇〇〇年 | 九〇〇年前<br>紀元前一世紀 | 紀元前後 | 四世紀  | 七一〇<br>七九四 |      | 一一九二 | 一二三三  | 一三九七 | 一五三七<br>一六〇三 | 一八六八 |      |

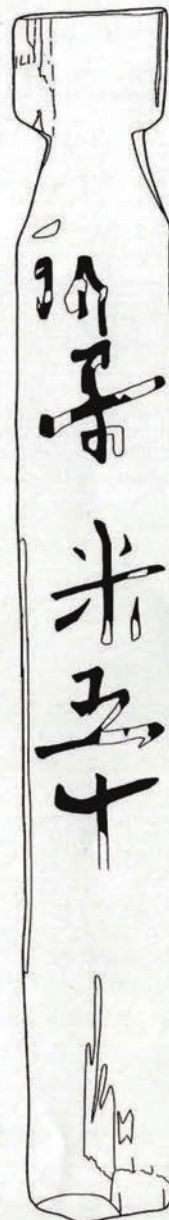


## 木製品のいろいろ 木もっ簡かん

低湿地にある遺跡を発掘すると、いろいろな木製品が発見されます。水分を多量に含む酸素の遮断された地層の中にあると、腐らずに残ることがあるからです。木簡もその一つで、短冊形の木片に墨書が

残り、貴重な文字資料となっています。右図の木簡は市原市の市原条里制遺跡の古代から中世の地層から見つかったもので、ヒノキ材で長さは18.2cmを測り、「□□米五斗」という文字が読みとれます。運ばれる米につけられた荷札と思われます。

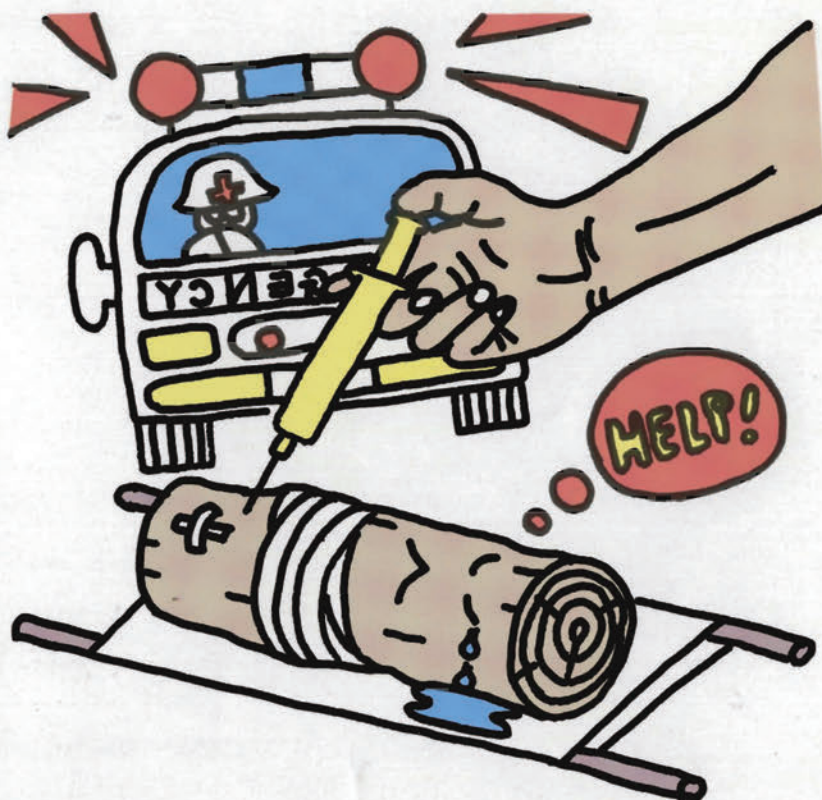
(川島利道)



Q&A

### Q 木製品はどうやって保存するのですか。

A 遺跡から出土する木製品は、水分を多量に含む地層に長い間埋まっていたため、見かけはしっかりしていても内部はもろく、少しでも早い保存処置が必要です。現在、一般に使われている保存方法は、真空凍結乾燥法やPEG（ポリエチレングリコール）含浸法というもので、木製品に含まれている水分を合成樹脂に置き換えて安定させる方法です。(川島利道)



### お知らせ

#### 出土遺物展

「石の時代今むかしー佐倉第三工業団地内遺跡群ー」  
期間：平成9年8月8日（金）～21日（木）、月曜休館  
会場：佐倉市立白井公民館（市民音楽ホール）、入場無料、  
京成白井駅南口下車徒歩3分

#### ふるさと文化講座

期日：講演 平成9年9月28日（日）、10月5日（日）  
10月11日（土）、10月19日（日）  
体験発掘 10月3日（金）雨天中止  
場所：講演 さわやかちば県民プラザ（柏市）  
体験発掘 我孫子市内遺跡（予定）  
内容：埋蔵文化財からわかる房総の歴史の講義と体験発掘  
＊往復はがきによる事前申込みが必要です。詳しくは資料部資料課にお問い合わせください。

### 千葉県文化財センター シンボルマークについて



今回から新たに本誌の表紙を飾ることとなったシンボルマークは、馬蹄形貝塚、前方後円墳、そして貝塚から多数出土する巻き貝の形状を表わしています。さらに、図柄全体で「CHIBA」の頭文字の「C」、及び千葉県そのものの形状も表現しています。